

4 調査結果を受けて、本校が具体的に取り組んでいくこと

①指導方法の改善

- ・目的や意図に応じて、話の構成や内容を工夫し、場に応じた適切な言葉遣いで自分の考えを話す場として、各教科の中で積極的に「グループでの話し合い活動」を取り入れていくとともに振り返りの時間の確保に努めます。
- ・各教科学習の節目となる場面で、「結果を基に書く」、「内容を整理して書く」、「理由を明確にして自分の考えを書く」等の活動を積極的に取り入れていきます。

②朝の読書タイムの充実

- ・毎朝の「読書タイム」を充実させるとともに、「うちどく」を勧め、本を読む機会を増やします。

③基礎学力の時間の充実

- ・水曜5限の4・5・6年「基礎学力の時間」を充実させ、基礎基本の定着を図ります。



④学力向上タイム「けいこの時間」の充実

- ・月、火、木、金の昼、合計週60分の「けいこの時間」を充実させ、プリント教材等を活用した基礎・基本の習熟、定着を図ります。

⑤放課後学習「フォローアップ」の充実

- ・月、金の放課後、合計週30分の「フォローアップ」の時間を充実させ、宿題のフォローや児童個々の弱点のサポートを図ります。

⑥家庭学習の手引きの活用

- ・「家庭学習の手引き」を活用し、お家の方と連携しながら家庭学習の定着を図ります。

⑦自主学習ノート活用の活用

- ・自主学習ノートの活用をすすめ、自主的な学習習慣の定着を図ります。

⑧生活点検の実施

- ・学期ごとに生活点検「生活リズムチェック」を行い、児童本人が生活を改善していこうとする意欲を育てます。

